

入札監視委員会の審議概要について

平成28年度第2回中国運輸局入札監視委員会が開催されましたので、審議概要を以下のとおりお知らせいたします。

開催日及び場所	平成29年3月13日 中国運輸局 会議室	
委員	水中 誠三 (水中綜合法律事務所 弁護士) 木谷 直俊 (広島修道大学 名誉教授) 三井 正信 (広島大学大学院 教授)	
審議対象期間	前回報告分以降 ～ 平成28年12月末	
抽出案件	総件数 41 件	(備考)
一般競争	2 件	
通常指名競争	0 件	
随意契約	39 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし	

質問	回答
【オープンカウンター】 オープンカウンターの取り組みとは如何	平成29年度から「オープンカウンター方式」を試行導入します。これは少額随意契約案件を対象としたもので、見積依頼の相手方を特定せずHPにて調達情報を公開し見積もり合わせの参加者を広く募る方式です。まずは、物品購入から始めていきたいと考えています。
オープンカウンターという名称は一般的ではないので、わかりやすい日本語を付記した方が良い。	承知しました。
【山口運輸支局封印上屋新設等工事契約】 落札率が6割程度であるが、予定価格の積算根拠は如何	当局独自に積算しています。今後は市場調査もさらに充実させていきます。また、公示期間をさらに長くとり等、入札者増に向けた取り組みも併せて実施していきたいと考えています。
【企画競争】 企画提案書提出者が1者のものが見受けられる。	他省庁も類似の取り組みをやっており、当局での案件も増えています。事業者の対応能力の関係もあると思われませんが、引き続き応募者拡大のための方策を検討していきたいと考えています。
【企画競争】 広島は欧米人が多いように感じる。台湾、中国、韓国へのプロモーションを強化していくことが必要ではないか。	欧米では原爆ドームや宮島の知名度が高くなっています。広島にはこういった地域からの旅行客の比率が高いという特徴がありますが、東アジアや東南アジアへのプロモーションも実施していくことも必要と考えています。
【企画競争】 クルーズ船が来るニュースをよく耳にする。クルーズ旅行客に管内に宿泊してもらうことは難しいのか。	旅行客は船内に宿泊するため宿泊費などが地元に着てこないため地域活性化にはつながりにくい面があります。宿泊していただかないと地元への経済効果は小さく、内陸部等へ足を延ばしてもらうためにもより多くの人に宿泊してもらいたいと考えています。宿泊を促すために例えば夜の魅力を創造するというのも方策の一つです。
【企画競争】 契約件数、金額ともに毎年増え続けているようだが、これは国の政策なのか。	いまの流れからするとそのように考えています。

(参考)

入札監視委員会は、入札及び契約の過程並びに契約の内容の透明性を確保するために、平成13年4月1日から施行された「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」(平成12年11月27日法律127号)及び「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針」(平成13年3月9日閣議決定)に基づき、中国運輸局に設置されています。

平成28年度 中国運輸局入札監視委員会名簿

(構成:3名)

委員会役職	氏名	職業
委員長	水中 誠三	弁護士
委員	木谷 直俊	広島修道大学 名誉教授
委員	三井 正信	広島大学大学院 教授